

2008.11

シルバー こうべ

編集発行：(財)神戸いきいき勤労財団
神戸市シルバー人材センター

〒651-0096 神戸市中央区雲井通5丁目3-1(サンパル10階)

●東部センター/857-3601 ●西区センター/993-0066

●中部センター/521-8000 ●北区センター/596-3181

●西部センター/621-6880 ●本 部/252-0316

電話番号はおかけ間違いのないようお願いします

ホームページ <http://www.kobe-sjc.or.jp>

デジカメで綴る樹木の剪定、除草作業 安全確実と顧客満足をモットーに

今回は、東部センター剪定班及び除草班が行っている業務の一端を紹介します。まず怪我をしない、させないことを第一に考え、猛暑の日、厳寒の日、場合によっては雨天の日も、お客様に満足いただくことを目指して頑張っています。少し専門的な内容にも触れますが、ふと見過ごしてしまいそうな部分についてもカメラをむけてみました。

1. 準備段階



【点検整備は入念に】

出発前に、刈払機(草や小径木を刈払うための機械)の混合ガソリンの給油、エンジンの始動、操作レバーの動作、回転部のネジの弛みなどを入念に点検します。(写真左)



ナイロンカッター(矢印部分がナイロン紐)



チップソー

【刈刃について】

柔らかな背の低い雑草を刈るには、ナイロンカッターが向いています。鞭でひっぱたく原理で草を刈っていくカッターで、誤って人体に接触したときの安全性が高く、塀、フェンス、踏石の際など、金属刃ではやり難い箇所に適しています。山林とか密集した雑草には金属製のチップソー、丸のこ刃など用途に応じて使い分けます。

刈払機の始業点検をしているところ

2. 除草作業の開始

作業を始める際に「刈り取る雑草」と「刈り取ってはいけない草花」とは、お客様と入念に確認をしたうえで、どこから刈り始めるか、風向きや足場、刈り取り後の草の処理等を考慮します。

砂利、小石が飛散したり、空き缶などが思いがけない方向に飛び跳ねることがありますので、建物や自動車等を損傷させないように保護シートをかけるとともに、空き缶など障害物をあらかじめ取り除いておきます。周りに人がいないことを確認して作業をはじめます。



建物の損傷を防ぐために保護シートをかけます



ローズマリーの根元に生えている雑草は、機械刈りに先立って、手作業で刈り取っておきます



踏み石の際などはナイロンカッターを使って除草します

次頁へ

配分金支払日のお知らせ

10月分

11月17日(月)

11月分

12月15日(月)

12月分

1月20日(火)

1月分

2月16日(月)

2月分

3月16日(月)

前頁より



斜面、高所の作業では、転落事故を防止するために、安全帯（命綱）をつけて作業します



生垣の刈込み剪定：上部は強刈込み、下方部は弱刈込みを行って上部の優性を抑え、下方部の劣性枝を保護します。残さいの片づけを効率よくするためにシートを敷いておきます

樹木剪定の目的

樹木の剪定をする目的は、建物・庭全体のバランスを考えて景観を美しくするとか、植栽の下層部の日射や風通しを良くし、病・虫害の発生を予防し、新しい枝を多く発生させ樹木を元気にするとか、季節・樹種によっても多岐にわたります。その他、実用的な緑陰、防塵、目隠し、防火を主な目的に行う場合もあります。



安全はまず服装から。枝木などが引っ掛からない服装、安全靴、ヘルメット、安全帯、腰まわりの工具ホルダー・サックなどを装備します。写真上＝東灘区にあるお屋敷での剪定作業の様子

作業を始めるにあたって、発注者の意向と本来の目的とを念頭に、剪定樹木の高さに応じて、その樹木の木姿の特長や枝の構成をよく見定めて目標樹形を立てて、作業に取り掛かります

作業終了

作業が終わりますと、発注者様の確認を頂きます。現地に発注者様が居られない現場では、作業前後の写真を撮っておき、後日確認をとります。センターへ帰ってから、機器・工具類の整備を行います。

また、班長さん、副班長さんと、センターの担当者として、本日の作業結果の確認をします。計画からのずれがあれば、その調整をします。



刈払機を当分の間使用しない時は、タンクと気化器から燃料を抜いて、さらにエンジンが停止するまで運転します。最後にプラグの穴からオイルをたらし、エンジン内にオイルを行きわたらせておきます



剪定バサミなど工具類を研磨したり、周動部には潤滑剤塗布など、手入れを怠りません



剪定班長さん（中央）、副班長さん（右）と、センター担当者とのミーティング

人生遊歩
シルバーを楽しく

“喜寿”まだまだ現役の 水泳インストラクター

中央区 宮下 みちよさん

今回、ご紹介する会員は、喜寿になっても現役で水泳を指導されている長野県生まれの宮下みちよさんです。

宮下さんと水泳の出会いは、YWCAの水泳教室でした。東京での結婚生活も落ち着き水泳でも習いたいと教室に通ううちに水泳の楽しさの虜になりました。また、自分ひとりで泳ぐだけではもの足らず、昭和38年には日本水泳連盟の公認水泳指導員の資格を取得しました。最初の仕事は、保谷市(現 西東京市)の水泳教室での指導でした。ご自分でも研鑽を重ね昭和43年と44年に練馬地区大会で2種目(平泳ぎ・自由形)連続優勝を成し遂げました。



宮下さん



公認水泳指導員証



連続優勝のメダル

昭和45年に家庭の事情で伯母を頼って3人の子供たちと神戸に引っ越して来ました。開所して間もない長田区のかるもプールに指導員として就職でき、他に推薦を頂いたプール4ヶ所でも同時に指導員として働き、子供を無事育てることができました。現在では曾孫さんがおられるとの事です。「この水泳指導員の資格があったからこそ神戸に来てもす

ぐ就職でき、生活することができました。非常に助かりました。」と当時のことを振り返っておられました。

昭和63年には、長年の指導員としての功績が評価され、神戸市スポーツ教育公社(現:神戸市体育協会)から感謝状を頂きました。



市民福祉スポーツセンターでの指導

現在でも「サークルひまわり」に所属し、休日には神戸市立市民福祉スポーツセンター(中央区磯上通)のプールで、目や耳・言語に障害を持つ子どもや大人の方と水泳を一緒に楽しんでいます。



感謝状



5m高飛び込み

シルバー会員としては、神戸大学の研究施設で実験動物のゲージの清掃と餌やり、給水の仕事をしています。大学からは「研究のスムーズな進行に大きな役割を担っておられ、いつも澁刺と仕事に取り組まれる姿に、研究員は厚い信頼を寄せています。」とのお言葉を頂いています。

趣味では、高飛び込み、スキューバダイビング、水上スキー、冬にはスキーにも出かけるというスーパーレディです。宮下さんの目下の悩みは、屋外スポーツでせっかくの色白が真っ黒に日焼けしてしまう事だそうです。

いつまでも若々しく、お元気で活躍していただき、水泳の素晴らしさを伝え続けていただきたいと思います。

センター だ・よ・り

西部センター

お天気キャスターから 開拓員への転身!!

西部センター（担当地区は垂水区、須磨区、長田区）は登録されている会員皆様のため、所長以下11名の人員で就業率アップを図るために奮闘中です。

その中で特に異彩（異才かもしれない）を放っている職員を紹介します。今年4月に入所した杉山輝吉開拓員です。



杉山開拓員は、昨年6月に長年勤務していたお天気キャスターの職を退職し、西部センターに配属されはや半年になります。お天気キャスターだった頃には、多数のテレビ、ラジオに出演し、ABCラジオの早朝番組「おはよう毛利千代子です」では長きにわたり毛利アナウンサーと共演し、特に平成7年1月には、阪神・淡路大震災の震災生放送を聞かれた会員の皆様も多いかと思えます。前置きが長くなりましたが彼の苦労話や担当地区の状況を紹介します。

<以下杉山開拓員の語りをそのまま記す>

今までは話をする相手は不特定多数でしたが、現在は個人が相手となり、慣れないこともあって苦労が多いです。当初は歩き過ぎが原因でわずか二日で足の小指に血豆が出来ました。三ヶ月目には膝の関節が痛くなり通院もしました。また、今年は空梅雨のため、雨の苦労はありませんでしたが、逆に日差しが強く、日焼けと汗だくの日々には参りました。さらに、訪問先によっては門前払いや適当にあしらわれることもあって情けない思いもしましたが、悪い話ばかりではありません。

会員の就業先を訪問する時もありますが『シルバーの方は誠実で辛抱強くコツコツと気がついたことをしてくれる』『若い人を雇うより安心できる』という話を伺うとほっとします。ある私立高等学校では、校内管理をシルバーに依頼したところ見違えるほど学校がきれいになった、という話を伺いました。

前任の先輩開拓員には『一期一会』を大切にとの助言を頂きましたが、今まさにその通りと実感しています。私もシルバー人材センターの看板を背負い、シルバーの顔として名刺をお渡しする以上、その名に恥じない真摯な『心』を大切にと思っています。

団塊世代が組織を離れ、第二の人生に踏み出し始めていますが、そのときそれらの人々を受け入れる体制が整わず切実な社会問題になるような気もします。高齢化社会を迎え、人生の秋をいかに彩るかは誰しもの願いです。今は一人でも多くのシルバー会員に就業先を提供できるよう、こまめに担当地区を開拓中です。



杉山開拓員

会員の皆さん！ 新規入会者の勧誘にご協力をお願いします!!

- ★お近くの友人・知人等に入会勧誘をお願いします。女性の方も歓迎します。
- ★いろいろな技術・知識・特技を持った人、地域の便利屋さん、一芸に秀でた人、世話好きの人など、シルバー人材センターの会員にふさわしい資質のある人への入会勧誘をお願いします。
- ★そして、特色ある多様な人材（マンパワー）を増やし、受注量の拡大を目指しましょう。

